FUJIFILM

作成日　2009年 5月19日

製品安全データシート

１．製品及び会社情報

製品名　：FF MONOMER 301
会社名　：富士フイルム株式会社
住　所　：〒107-0052　東京都港区赤坂9-7-3
担当部門　：産業機材事業部
電話番号　：03-6271-3040　FAX番号 03-6271-3164
緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
電話番号　：中毒110番(無料)　　大阪　072-727-2499(24時間)　つくば　029-852-9999(9時～21時)
整理番号　：KJ230101G

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外	
皮膚腐食性／刺激性	区分３	(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	区分２Ａ	(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
生殖毒性	区分１Ａ	(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)

*危険/有害性の大きさ：区分は、数字の小さいほど危険性/有害性が高い。
*記載がないものは、分類対象外または分類できない。

ラベル要素

（絵表示）

健康有害性

感嘆符

（注意喚起語）　危険

（危険有害性情報）　軽度の皮膚刺激(区分３)
強い眼刺激(区分２Ａ)
〔トルエン〕
生殖能力または胎児への悪影響のおそれ(区分１Ａ)

日化協「GHS対応ガイドライン」（改正労働安全衛生法にも対応）に準じた表記になっています。

（注意書き）【予防策】　使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護眼鏡／保護面を着用すること。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

【対応】　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
取り扱った後、手を洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。

【廃棄】　内容物／容器を国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

国・地域情報　:「１５．適用法令」の項　参照

３．組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名:　＜原則として１%以上含有する成分を記載しています＞

成　分　名　称	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	GHS 分類 寄与成分
５－エチニルイソベンゾフラン－１，３－ジオン	80 - 100	73819-76-8		
トルエン 【PRTR1:227号、安衛通知】	0.2	108-88-3	3-2	○

分子式（CAS No.）： C10H4O3(73819-76-8), C7H8(108-88-3)

*○はGHS分類に寄与する成分

注：　化学物質名称の後の【】の中に以下の情報を記載しています（記載のない場合は非該当です）。
「PRTR **特1**」は、化学物質管理促進法 特定第一種指定化学物質、
「PRTR **1**」は同法　第一種指定化学物質、
「PRTR **2**」は同法　第二種指定化学物質、
「**安衛通知**」は労働安全衛生法の通知対象物を指します。
なお、化学物質管理促進法に該当する物質の場合、同法別表中の政令番号を併記しています。

４．応急措置

吸入した場合　：直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静につとめる。その後、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合　：直ちに石鹸を用いて大量の水で十分に洗い流す。汚染された衣服等は、十分洗浄した上で使用する。痛みが残る場合は医師の手当てを受ける。

眼に入った場合　：直ちに清浄な流水で数分間眼を洗浄したのち、眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合　：水で口の中をよく洗ったのち、気持ちが悪いようであれば医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護　：救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

５．火災時の措置

消火剤　：初期消火には炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等を使用する。

使ってはならない消火剤　：通常の状況下では、不適切な消火剤はない。

特有の消火方法　：周辺火災の場合は、可能ならば速やかに容器を安全な場所へ移す。
関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないように配慮する。

消火を行う者の保護　：消火作業では、適切な保護具を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：作業の際には適切な保護具を着用する。(「８．暴露防止及び保護措置」の項 参照)

環境に対する注意事項　：薬品が河川等に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材　：漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流す。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：皮膚､粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。取扱い後に、手や顔等をよく洗う。

局所排気・全体換気　：作業場は換気を十分に行う。

注意事項　：次項参照

安全取扱い注意事項　：作業後には、手､顔等をよく洗う。

保管

適切な保管条件　：直射日光を避け、密栓して保管する。
熱から遠ざけること。10℃以下の温度の冷所で保管すること。

技術的対策　：情報なし

混触禁止物質　：情報なし

安全な容器包装材料　：十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策　：作業場は換気を十分に行う。また、作業場の近くには手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。

含有成分の管理濃度・許容濃度

成　分　名　称	CAS No.	厚生労働省告示 管理濃度	日本産業 衛生学会	ACGIH TLV
５－エチニルイソベンゾフラン－１，３－ジオン	73819-76-8	設定値なし	設定値なし	設定値なし
トルエン 【PRTR1:227号、安衛通知】	108-88-3	50ppm	50ppm 188mg/m3	50 ppm TWA

保護具

呼吸器の保護具　：必要に応じて、適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具　：適切な保護手袋を着用する。

眼の保護具　：安全眼鏡を着用する。必要に応じて顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具　：必要に応じて適切な保護衣を着用する。

適切な衛生対策　：作業中は飲食、喫煙はしない。飲食、喫煙前には石鹸で手を洗う。

９．物理的及び化学的性質

外観
　形状　：結晶性粉体
　色　：淡黄色
臭い　：無臭
ｐＨ　：該当せず
融点／凝固点　：122　℃
沸点・初留点と沸騰範囲　：データなし
引火点　：該当せず
自然発火温度（発火点）　：データなし
燃焼性または爆発範囲の限界　下限　：データなし
　上限　：データなし
蒸気圧　：データなし
蒸気密度　：データなし
比重（相対密度）　：データなし
溶解性(対水)　：データなし　(不溶)
オクタノール／水分配係数　：データなし
分解温度　：データなし

１０．安定性及び反応性

安定性　：通常の使用条件下では安定。
危険有害反応可能性　：特になし
避けるべき条件　：高温、直射日光
混触危険物質　：情報なし
危険有害な分解生成物　：一酸化炭素、炭酸ガス
その他情報　：示差熱試験(SC-DSC)：発熱開始温度 154℃、発熱量 1,003J/g

１１．有害性情報

製品に関する情報
急性毒性
　急性経口毒性(経口ＬＤ50)　：>2000　mg/kg
　　試験動物　：ラット
　急性経皮毒性(経皮ＬＤ50)　：データなし
　　試験動物　：データなし
皮膚腐食性／刺激性　：軽度の刺激性
　(一次刺激性ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(P.I.I.):1.25)
　　試験動物　：モルモット
目(眼)に対する重篤な損傷／刺激性　：眼に対して刺激性がある。
　(急性眼刺激指数:20.3)
　　試験動物　：日本白ウサギ
呼吸器感作性又は皮膚感作性
　皮膚感作性　：皮膚感作性が認められる
　　試験動物　：モルモット
その他情報　：特になし

１２．環境影響情報

生態毒性	：データなし
魚毒性	：データなし
試験生物種	：データなし
甲殻類に対する毒性	：データなし
試験生物種	：データなし
藻類に対する毒性	：データなし
試験生物種	：データなし
残留性・分解性	：データなし
生体蓄積性	：データなし
土壌中の移動性	：データなし

１３．廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(ﾏﾆﾌｪｽﾄ)を添えて、処理を委託する。
廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法　：産業廃棄物（汚泥）】

１４．輸送上の注意

輸送法規の適用なし。国連分類：非該当

---------- 海上輸送もしくは航空輸送を行う場合は以下の情報を輸送会社にお渡し下さい。 ----------

Marine Transportation

Class or Division	: Not classified as dangerous material.
UN-No.	: Not regulated
Proper Shipping Name	: Not regulated
Packing Group	: Not regulated
Subsidiary Risk	: Not regulated
Marine pollutant	: Not regulated
Packing Instructions	: None
EmS(Emergency Schedule)	: None
Further Information	: Material not classified for transport at sea.

Air Transportation

Class or Division	: Not regulated
UN-No.	: Not regulated
Proper Shipping Name	: Not regulated
Packing Group	: Not regulated
Subsidiary Risk	: Not regulated
Label(s)	: Not regulated
Passenger and Cargo Aircraft	: Packing Instruction None max. None
Cargo Aircraft Only	: Packing Instruction None max. None
Further Information	: Material not classified for air transport.

１５．適用法令

下記参照

主な適用法令

化審法	特定化学物質	：該当なし
	指定・監視化学物質	：該当なし
安衛法	危険物	：該当なし
	特化則	：該当なし
	有機則	：該当なし
	通知対象物	：トルエン
	表示対象物	：該当なし
毒劇法		：該当なし
消防法		：該当なし
化学物質管理促進法（PRTR法）		：該当なし
船舶安全法		：該当なし
航空法		：該当なし

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。注意事項は当製品についての通常の取り扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。
本ＭＳＤＳは、JIS　Z7250:2005に基づく日本化学工業協会のＭＳＤＳ作成指針に従って作成したものです。

作成部門:富士フイルム㈱ CSR推進部　環境・品質マネジメント部